

コミュニティガーデンで広がる地域の輪 ～都留市の名物水かけ菜を学生に広げる～

和み菜家

※表紙を加えて8ページ以内として下さい。

経緯／問題意識

私たちのサークルは、地域の人のお畑をお借りして野菜を育てていて、冬には水かけ菜という都留市の名物を育てて、道端で売っています。

しかし、都留市にはこだわりを持って野菜を作っている人たちが多くにも関わらず、多くの学生はあまり意識がありません。理由としては、

- ・学生と地域の人との交流が少ない
- ・スーパーに行っても、地産地消の野菜は高いイメージがあるから

以上の2点が考えられます。

目的・目標

より多くの学生に大学で出会った都留市のいいところをもっと知り、食を通して都留に親しみを持ってもらいたいと思います。

そのために私たちは、

- ・朝市やイベントを通して、地産地消の野菜を身近に思ってもらうこと
- ・学生と地域の人との交流の場を作り、学生にもっと都留に親しみを持ってもらうこと

を目標に活動していきます。

主な活動内容

6月	YouTube発信、水かけ菜種とり、新歓、販売台作成
7月	YouTubeで畑の様子を発信、販売台作成、朝市開始(第2第4土曜日)
8月	YouTube発信、朝市
9月	地域の人による料理教室イベント、YouTube発信、朝市
10月	水かけ菜種植えYouTube発信、朝市
11月	旬の野菜イベント、朝市YouTube発信
12月	水かけ菜収穫&販売、YouTube発信

朝市で人との交流の場を作り、イベントやYouTubeチャンネルを告知する。

アピールポイント

1. 社会性	学生と地域の人との心理的距離が遠くなっているのが現状。食を通して学生に都留に関心を持ってもらう。
2. 主体性	基本的に学生で企画し、畑や料理などは地域の方に教えてもらいながら進め、販売場所は知り合いのオーナーさんにお借りする。
3. 具体性	知り合いには花火場所を借りることに關しては承諾を得ており、すでにイベントの企画などは進んでいる。すでに今年度から事業は進んでいる。
4. 実現可能性	畑やDIYに関する知識は地域の方から学んで、基本自分たちで作り上げるため、費用は最低限に抑えられる。また、2年前から水かけ菜の販売は行っているため、ある程度の流れは知っている。
5. 効果	学生の地産地消の意識が高まり、地域の繋がりを感知するようになることで地域に対してオープンに農業をしている方にとって活動の幅が広がり、学生にとっても都留での居場所が増える。
6. その他	

その他

